

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 羅臼町立羅臼幼稚園 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
所在地 〒 086 - 1821
北海道目梨郡羅臼町緑町301番地
E-mail bz899706@bz01.Plala.or.jp
Website _____
幼児児童生徒数 男子 28 名 女子 37 名 合計 65 名
幼児・児童・生徒の年齢 3歳 ~ 6歳
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要

当園では、日常生活や遊びを通して、幼児が地域の自然と触れ合い、地域の自然に親しみ、地域で暮らす様々な人との交流を通して、社会性を身につけ、地域社会との結びつきを強める体験、これらの活動を通して、知床の自然の豊かさを体験し、「豊かな感性」と「たくましさ」を身につけることを目標としている。

具体的には、①自然と触れ合うことを通して、その美しさ・不思議さを感じ取り、自然を大切に育てる、②身近な動植物に関心を持ち、生命の尊さに気づき、自然を大切に育てる、③地域の人々と交流し、地域の産業や自然について理解を深め、豊かな人間性を育てる、④自然や社会のすばらしさを知り、ふるさとを愛する心を育てる活動を進めている。

①自然と触れ合うことを通して、その美しさ・不思議さを感じ取り、自然を大切に育てる活動(戸外遊びや散歩活動、河原で遊ぶ、海で遊ぶなど)

【実践例 ～海で遊ぶ～(9月)】

全園児がバスに乗って町内の峰浜の海へ行き、園外保育を実施しました。普段は園庭で遊んだり園周辺の散歩を行ったりしていますが、海へ行って活動する機会が少ない子ども達にとっては貴重な体験になりました。初めて海に入る幼児もいました。友達や教師と手を繋いで海の中に入ったり、昆布とりや釣りの真似をしてみたり、砂のお団子作りなど羅臼の海を思いきり楽しむことができました。



②身近な動植物に関心をもち、生命の尊さに気づき、自然を大切にする心を育てる活動

(クマ学習やビジターセンター見学)

【実践例 ～ビジターセンター見学～ (2月)】

自然環境に興味・関心を広げる目的で、地域の施設のビジターセンターへ見学に行きました。幼稚園から少し離れていることもあり、普段はなかなか利用ができない施設ですが、その施設には知床に住む動物などがたくさん展示されていることを知っている子も多く、見学することを楽しみにしていました。

5歳児は、教育委員会の自然環境教育主幹の金澤祐司さんに、展示物の説明をしてもらいながら施設内を見学しました。展示物の大きなトドの剥製やシャチの骨に驚いたり、金澤さんのお話にも興味をもちながら聞いていました。4歳児は、スクリーンで知床の自然の映像を見ることができました。動物が出るたびに驚き、「鮭!」「熊!」と自分達が知っている生き物ができると喜んでいました。



③地域の人々と交流し、地域の産業や自然について理解を深め、豊かな人間性を育てる

(市場見学、更生保護女性会の人との交流など)

【実践例 ～更生保護女性会の人との交流～ (10月)】

地域のサークルの更生保護女性会の方々が幼稚園に訪れて、幼児と一緒にゲームをし、ちゃんちゃん焼きを食べました。女性会の方々が、幼児の目の前で鮭をさばいてくれました。目を押さえて「気持ち悪い」という声もあったが、自分達が生きていた物を食べていること、生き物の命の大切さなどを知ることができました。生き物への感謝の気持ちをもちながら食べ、また女性会の人と会話をしてながらおいしく食べました。とても楽しい活動になりました。



④自然や社会のすばらしさを知り、ふるさとを愛する心を育てる活動

(郷土資料館見学、地域交流)

【実践例 ～郷土資料館見学～ (10月)】

バスに乗って、幼稚園から遠く離れた郷土資料館を訪れ、羅臼の歴史について学びました。施設には、昔使われていた物や動物の剥製・模型などが展示されていました。

ほとんどの幼児が初めてで、目を輝かせていました。年長組は、施設の職員のお話を聞きながらまわり、自分達の住む羅臼がより好きになりました。



(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述・自由遊び・クラス活動・園外保育)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

・なし

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

・教育課程には、「家庭・地域、ユネスコ」の欄を設け、散歩活動、生き物探しなどの取組みを記載している。1年を5項目に分け、学年毎に活動や内容を変えるなど工夫を行っている。
・教育課程の他に、「ユネスコスクール年間計画」を作成し、どの時期にどんな内容を行ったらいかななどを明記し、活動を計画的に行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

- ・ユネスコの関係機関(学校、教育委員会など)と連携をもち、事前の打ち合わせなどを行い、計画的に実施している。
- ・職員会議や打ち合わせなどで、ユネスコの活動を確認し合い、共通理解のもと実施している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

- ・園評価の中に、「園は自然環境を生かし、地域との連携など、体験を豊かにするための活動に力を入れている」「食えることが喜びにつながる食指導、好き嫌いの指導など、PTAとも協力して食育に力を入れている」などの項目を設け、評価では、高い数値が挙げられている。また教師間でも、ユネスコスクールの活動後は、必ず反省を行い、次の活動に繋げることを意識している。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

- ・年間の活動計画及び、関係機関への活動の内容の報告。
- ・年1回のユネスコスクール発表会では、児童の作品展示を行っている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項2-3に対応

- ・地域のビジターセンターと連携し、クマ学習を行っている。
- ・羅臼町自然環境教育主幹・金澤氏（教育委員会）と連携している。自然学習の際には、講師として、幼児へのお話を頂いている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項2-4に対応

- ・町内の学校間との交流はあるが、それ以外の交流は行っていない。交流としては、「小学校5年生交流」「中学校3年生交流」「高校生交流」などを行い、幼児にとって楽しい活動になっている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項2-5に対応

- ・ユネスコスクールの活動があると毎回、楽しみにしている
- ・動植物に興味をもち、命の大切さを学んでいる。
- ・地域の人々と交流し、地域の産業や自然について興味をもち、遊びに生かしている姿があった（漁師ごっこなど）

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- ・平成29年度と同様の計画を行う。

（主な活動）

- 春 ・ ・ 生き物探し、食べられる野山の草、野菜を育てよう
- 夏 ・ ・ クマ学習、郷土資料館見学、市場見学、海で遊ぼう
- 秋 ・ ・ 秋の生き物探し、畑でとれた野菜で料理を作ろう、漬け物作り
- 冬 ・ ・ 雪や氷で遊ぼう、ビジターセンター見学

その他に、普段の保育の中でも散歩活動や園庭遊びを通して、自然に触れ合うことや命の大切さなどを学んでいく。学校や地域との交流を計画的に行い、幼児と地域のつながりをさらに深めていく。町内の園児・小学生・中学生・高校生が合同で、地域のゴミ拾い活動を行う予定である。